


活動団体紹介カード

| | | | | |
|---------------------|--|-------------------------|-----------------------|--------------|
| 団体名 | 造園まちづくり塾 | | | |
| 事務所 | 884-0003 | | | |
| | 宮崎県児湯郡高鍋町南高鍋449-1 | | | |
| 代表者 | 塾長 北川 義男 | | | |
| HPアドレス | 非表示 | | | |
| 構成員数 | 10 | | | |
| 活動種別 | <input type="radio"/> | 景観の保全・創出 | <input type="radio"/> | |
| | <input type="radio"/> | 担い手の育成 | <input type="radio"/> | |
| 活動内容 | <p>・私たち「造園まちづくり塾」は、南九州大学北川義男名誉教授と環境デザイン研究室卒業生の有志による、造園環境デザインの技術とネットワークを活かした景観まちづくり活動団体です。</p> <p>・「造園まちづくり塾」では、自然と人とまちとの共生と、オープンで新しい展開に「造園」の視点が合わさるまちづくりができる人材の育成や、美しい宮崎づくりに対する助言、支援を行っています。</p> | | | |
| 団体PRメッセージ | <p>・これまで県内各地で景観デザイン事業や、環境を考えるフォーラムの開催、ピオトープの学習会などの多彩な園づくり、人づくりに携わってきたメンバーが活動を行っています。</p> <p>・これからも景観まちづくりや環境デザインへの協力・交流・連携などを行っていきます。</p> | | | |
| 写真 (活動の様子 など) | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>◆ 「造園まちづくり」の基本的な考え方</p> <p>◇ 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 自然との共生、人との共生、まちとの共生を目指す <p>◇ 活動の特徴-1:</p> <p>★ 総合的な視点で対象地(課題スケールからまちスケールまで)を捉える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3軸の基本枠で展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自然大地軸 ・人・コミュニティ軸 ・過去・現在・未来軸(時間軸) 2) 対象地の把握: 3軸3ポイント (課題・痛み・希望) 3) 対象地の計画: 未来に向かったの仮設の提示 <ul style="list-style-type: none"> ・対象地において良き関係の提案 </div> <div style="width: 48%;"> <p>◇ 活動の特徴-3:</p> <p>★ 多彩なスケールと各スケールの連続性</p> <p>☆ 日常生活スケール: この領域が造園まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭スケール ・敷地スケール (公園や建築物の関連緑地など) ・公民館スケール ・校区スケール (近隣スケールなど) ・まちスケール <p>☆ 非日常生活スケール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県スケール ・九州スケール ・日本スケール <p>☆ 国際関係スケール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアスケール ・アジアスケール ・世界スケール <p>☆ 地球スケール</p> </div> </div> | | | |
| | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>◇ 活動の特徴-2:</p> <p>★ みどり(緑地)の機能を積極的に活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次的効用: グリーンコンタクト機能 ・二次的効用: 5つの機能 ・三次的効用: 18つの機能 <p>※ 参照: 本大会案内チラシ裏面(最終頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 自然と歴史・文化を感じる緑 ☆ 潤いをもたらす緑 ☆ 町の顔となる緑 ☆ 町の骨格の緑 (まちづくりの基本) ☆ 市民が育てる緑 ・都市の自然: 自然・空間・社会・経済・生活システム  </div> <div style="width: 48%;"> <p>◇ 活動の特徴-4:</p> <p>★ 対象空間を循環プロセスを基本に展開 ☆ 対象地=対象空間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 空間翻訳 (現状を分析を通じて把握する): <ul style="list-style-type: none"> ・3軸3ポイントで集約化 2) 空間作調 (空間翻訳に基づいて、条件等の最適な方向を設定する) <ul style="list-style-type: none"> ・考え方 (理念)・目標・方針・デザイン確定 3) 空間作曲 (空間作調に基づいてデザイン規定を敷地化・形化・形の洗練化への発言作成) 4) 空間演奏 (空間作曲を現実化し、利用者との関係を築く活動) <ul style="list-style-type: none"> ・この段階は、建設段階、維持管理段階、運用段階で構成 ・この段階が対象空間を築くことになる 5) 空間評価 (空間演奏を評価し、チェックする) <ul style="list-style-type: none"> ・悪い場合は、1) 空間翻訳を修正へ、この循環サイクルにより、空間を最適な状態に形成していくシステムとなる <p>【※】 PDCAと比較!</p> </div> </div> | | | |
| | 連絡先 | 担当名 | 北川 義男 | |
| | | TEL/FAX | 0983-23-3655 | 0983-23-3655 |
| | E-mail | zouenmiyazaki@gmail.com | | |